矢賀 学区だより

第４８１号（毎月１回）
令和　５年　６月　１日
編集発行
矢賀学区連合町内会
矢賀学区社会福祉協議会

矢賀学区まちづくり委員会
会長就任のご挨拶

矢賀学区まちづくり委員会
会長　山田　正一

今回、矢賀学区まちづくり委員会を立ち上げたきっかけは、コロナ禍の影響で学区内の行事が開催できず、また、高齢化などにより組織運営が行き詰まっていました。そこで、昨年の五月に社会福祉協議会・連合町内会の理事会の賛同を受け、有志が「新しい町づくり会議」を立ち上げました。

何回か会議を開催するうちに、広島市が「新たな協力体制」の構築に先導的に取り組む地域」を募集していることを知り、新しい町づくり会議のメンバーを中心に検討し、応募することにしました。

話合いを進めていく中で、持続可能なまちにするためには、組織を部会制にすること、若い世代の意見を取り入れること、ICTを活用した時間効率の良い運営が大事だということにたどり着きました。

また、昨年度は、「新しい町づくり会議」の活動を知ってもらうため、子どもたちを対象とした事業を実施することから始めようと思い、小学生を対象とした「みんなで映画をみよう会」や大学生と連携した「忍者屋敷からの脱出」というイベントを開催し、多くの子どもや保護者の方に参加していただきました。

この取り組みを通じて、地域の新たな人材が発掘でき、「新しい町づくり会議」のメンバーも徐々に増え、様々なアイデアを提案できる体制になったと思います。

認定式後の集合写真

この委員会を立ち上げるまでには、様々な課題がありましたが、新しい町づくり会議と矢賀学区内の各種地域団体が連携しながら、広島市の企画総務局コミュニティ再生課の強力な伴走支援を受け、三月二十九日に「矢賀学区まちづくり委員会」として認定を受けました。

この日を出発点として、世代を超えた持続可能な新しいまちづくりを矢賀学区の各種地域団体と協力して進めたいと考えています。

第58回

なごみの会
茶話会

日時　令和5年7月2日(日)
　　13時30分から15時30分
会場　矢賀中央集会所　大ホール
会費　三〇〇円(申込時に徴収)
内容　落語・ゲーム・その他
申込締切
　6月20日㈫までに、各世話人さんまで申し込んで下さい。
(高齢者生き生きポイント手帳をお持ちの方は持参ください。)

矢賀学区社会福祉協議会
会　長　山田　正一
世話人　石本　民子

お詫びして訂正

先月号に掲載しました矢賀学区社会福祉協議会役員紹介に誤りがありました。
お詫びして訂正します。

追加　理事　村上　正
訂正　誤　理事　飯田　澄夫
　　正　理事　飯田　澄雄

矢賀学区だより　編集委員会

小学校だより

「一年生を迎える会」
～四年ぶりの対面開催～

令和五年五月九日、全学年が集って「一年生を迎える会」を行うことができました。この会を対面で行うことができたのは四年ぶりです。

現在の四年生が入学した年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため休校となり、実施することができませんでした。現在の二・三年生の入学時は、実施方法を工夫し、テレビ放送を使って開催しました。

体育館に集合した子どもたちは、少し緊張した面持ちで、静かに一年生の入場を待っていました。良い会にしようする二年生から五年生の子どもたちの思いが伝わってくるかのようでした。

「1年生を迎える会」
○×クイズを楽しむ子供たち

会が始まり、まずは児童会執行部が○×クイズを行いました。一年生に学校のことを教えるクイズの数々で、とても盛り上がりました。二年生は、自分たちが大切に育てたアサガオの種をプレゼントしました。一年生は、丁寧に受け取っていました。

会がとても楽しかったのでしょう。一年生は、にこにこしながら、動作を交えてお礼の言葉を述べました。愛らしい一年生の姿に、上級生の表情も緩んでいました。

この三年間、密を避けるために様々な工夫を凝らして学校行事を行ってきました。得たものも多くありますが、やはり対面しているからこそ感じ取ることのできるものがあるように思っています。場の空気から感じる緊張感や喜び、達成感などです。きっと今回の「一年生を迎える会」は、深く子供たちの記憶に刻まれたことでしょう。

私自身は、一年生をあたたかく迎え入れる子どもたちの姿に、「矢賀小学校は本当にすてきな学校だ」という思いを強くしました。

六月の予定
1日(木)救命救急実技講習
2日(金)耳鼻科検診
5日(月)プール清掃
8日(木)修学旅行(～9日)
　短縮四校時授業
13日(火)水泳指導開始
　四年生校外学習
　「広島市環境局中工場」他
14日(水)参観・懇談(たんぽぽ)
15日(木)絵本の森(一・二年生)
　一斉下校訓練
16日(金)参観・懇談(一～三年生)
20日(火)音楽朝会
21日(水)参観・懇談(四～六年生)
26日(月)夏日課開始
　(～9月8日)
　あいさつ運動(～30日)
30日(金)校内研・四校時授業
　三年二組のみ五校時授業

矢賀小学校HP
QRコード

広島市立矢賀小学校
校長　村中　真由美

幼稚園だより

「温かい心のつながり」

入園、進級して二か月が過ぎました。子どもたちは毎日元気に登園しています。友達や先生に親しみ好奇心を全開に次々と遊びを楽しむ姿

が見られています。五歳児と四歳児のなかよしペアの関係が微笑ましく、一緒に遊びながら笑顔があふれる時間を積み重ねています。五月は「こいのぼり」や「真っ赤ないちご」「やがようちえんのうた」「どんな色が好き?」など、楽しく歌う姿が多く見られました。歌やダンスが大好きな子どもたちです。園庭ではカラスノエンドウで上手に笛を吹き、花びらを使ったジュース作りもお手のものです。身近な自然に触れて遊びながら季節の移り変わりを感じています。

五月九日には東警察署、交通安全協会、交通安全推進隊の皆様をお招きし、親子交通安全教室を開催しました。交通安全の話の後、四歳児は保護者と、五歳児は一人ずつ実地訓練指導を受けました。

親子交通安全教室

五月十七日には五歳児が園外散歩に出かけました。ベルフリーガーデンのご協力でチャペルやガーデンを見せてもらいました。帰りには矢賀小学校を通らせてもらい校長先生にご挨拶をしました。五月十九日には「絵本の森さん」に読み聞かせをしていただきました。

未就園児親子の皆さん対象の「幼児のひろば」を始めています。五月二十三日「歓迎会」では、園児から歌と手作りのプレゼントをしました。小さいお友達を迎えて五歳児はもちろん四歳児も優しく接する姿が見られ、思いやりの心が芽生えていると感じました。

地域の皆様、保護者の皆様には、引き続き子どもたちを見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

六月の予定
1日(木)マツダスタジアム見学
2日(金)歯磨き指導
6日(火)プラネタリウム
　観覧(五歳児)
8日(木)なかよし広場
9日(金)わくわくランド
10日(土)土曜参観日
12日(月)代休
13日(火)歓迎遠足
14日(水)わくわくランド
20日(火)ともはと号来園
　なかよし広場
23日(金)わくわくランド
29日(木)なかよし広場

広島市立矢賀幼稚園
園長　木村みゆき

児童館だより

この四月より児童館が全面開館して二か月が経ちました。三月半ばから少しずつ子どもたちが遊びに来ていて賑やかな児童館が戻りつつあります。

先日、一年生を迎える「入学おめでとう会」と今年度初めての工作をしました。「入学おめでとう会」では一年生の自己紹介と簡単なゲームを行いました。この日は児童館職員が司会・進行を行う予定でしたが、当日遊びに来た六年生男子二人が是非自分たちに司会進行をやらせてほしいと申し出があり、所々ユーモアを織り交ぜながら、一年生の緊張を和らげ会を盛り上げていってくれました。三年ぶりの会でしたが50人ほどの参加があり賑やかでとても楽しい会となりました。

五月の工作ではこの時期ならではのプレゼント工作でパールやキラキララインストーンでアロマストーンを飾りつけをする工作を行いました。一年生にとっては初めてなので簡単な物でしたが、みんな思い思いに飾りつけ世界でひとつの特別な作品が出来上りました。

今後も児童館では季節の行事、工作を計画しています。ぜひ利用登録をして児童館に遊びに来てください。

【放課後児童クラブからのおしらせ】
夏休みのみの利用について
一次受付　令和5年6月1日(木)～
　6月15日(木)
二次受付　令和5年6月16日(金)～
　6月30日(金)
記載されている期間が申し込み期間となります。詳しくは広島市ホームページまたは児童館にお問い合わせください。

広島市矢賀児童館
082(286)0543

こんにちは　保健師です

東区障害者基幹相談支援センターの天崎です。

今回は障害福祉サービスの中で「生活介護」について、お話します。

「生活介護」のサービスの内容は、厚労省の説明から抜粋すると、

・入浴、排せつ、食事等の介護
・調理、洗濯、掃除等の家事や生活に関する相談や助言
・創作的、生産的活動の機会の提供
・身体的機能や生活能力の向上のための必要な支援になっています。

介護もあって、生活面での相談もできて、手芸や軽作業の設定もあって、リハビリもできる事業所、ということになるでしょうか。主に利用しているのは、特別支援学校の高等部を卒業した方など、障害支援区分が3以上の、18歳以上の障害のある方です。

トータル的な事業ですが、実際にはそれぞれの事業所によって、特色や強みが分かれています。

東区には、11か所の生活介護の事業所があります。以前から作業所と呼ばれている事業所の多くでは、生産的活動として、クッキーやケーキ、マドレーヌなどのお菓子作り、牛乳パックのリサイクル、手芸品、ウエスづくり、建築資材の組み立て等の下請け作業に取り組んでいます。

特徴的な作業としては、千羽鶴未来プロジェクトとの協同事業で、平和公園などに捧げられた千羽鶴を解体し、その再生紙で作ったグッズの袋詰めや販売も行っているところもあります。

18歳以上の大人の方の事業所なので、その同世代の方と同じように、「働く」ことが、日中活動の柱としてあります。障害の様子に合わせて、自分でできることに取り組んで、そこで給料を得ることも大きな喜びとなっています。そこが「生活介護」での大きなポイントでもあります。

創作的な活動としては、音楽活動、手工芸、リクレーションなどがあり、行事としては、コロナで自粛することもありましたが、お花見や夏祭り、コンサート、旅行などを行っていました。日々の作業や活動だけでなく、日常とは違うことも企画して、利用者の方の生活の中での楽しみ作りを行っています。

介護では入浴を行っているところもあります。特殊な器具や浴槽などで障害の重い方も、家以外でも気持ちよくお風呂に入れるように取り組んでいます。

家事や生活の支援では、クッキングなどの調理にも取り組み、利用者でメニューも考えて、おやつなどを一緒に作って食べる活動も行っています。

また理学療法士や機能訓練指導員などにも来てもらって、個別のリハビリやストレッチ、リラクゼーションなどの機能訓練にも取り組んでいるところもあります。

以上、生活介護の事業所について主な内容を紹介しましたが、もっと詳しいことは東区役所のホームページの中の「東区地域支えあいリスト」で見ることができます。

「生活情報」のところの「東区地域支えあいリスト」→「1　どんな情報があるの?」→「(4)障害児・者支援事業所」→「4　生活介護」です。

それぞれの事業所の紹介シートがあり、さらにその事業所のホームページにも飛べるので、どうぞ一度ご覧になってください。

よろしくお願いします。

広島市東区障害者
基幹相談支援センター
主任相談支援専門員　天崎　靖
電話　082(573)0140
受付時間：月～金曜日
8：30～17：15
(祝祭日、年末年始など休みあり)

東区地域支えあいリスト　検索

祝弔生花・葬儀
・・創業昭和六年・・
株式会社　玉屋（シクシク）
南区段原　TEL 261-4949
e-mail info@tamaya4949.jp URL http://www.tamaya4949.jp
玉屋ご相談サロン（本社前）
（費用・手順・お布施・家族葬・直葬など事前相談承ります）
葬儀場／／玉屋サンクスホール
段原大通沿い

今後，学区だよりが変わります！

なぜ変わるの？　何が変わるの？

近年，読み手(=町内会メンバー)の減少が深刻です。何が変わるか，どう変わるかは，みなさんの意見を反映して決めていきたいと思います。また，有志の編集メンバーを募り意見を出していきます。

今考えている案などはあるの？

案ですが以下のとおり多方面に渡ります。
＜デザイン・レイアウト＞
・学区だよりの名称・直筆デザインを公募するかも
・縦書きか横書きか，白黒かカラーか
＜コーナー＞
・現在執筆いただいている教育福祉の専門家の方々にQ&A形式で編集メンバーや地域の方が質問を出す形にしてはどうか？
・「譲ります」「写真投稿」「地域のニュース口コミ」「イベント」「みんなの意見集計」など地域の方が参加する欄を設けてはどうか？

具体的にどのように意見を出せる？

以下のQRコード，電話に次の情報と共に，ご意見お答えください。
「氏名(よろしければ)」「年齢」「性別」「お住まいの地域」「折り返し用メールまたは電話番号」* QRコードからGoogle Formsに飛びますが，そこでは選択肢式など簡易に意見を出すことができます。
また，変更も急にするのではなく，利用者の満足度も調べながら改善を重ねていけたらと思います。

問い合わせ・意見連絡先：矢賀学区まちづくり委員会・広報チーム
TEL：082－285－8163